

鳥取県立美術館整備の検討状況について

平成 30 年 9 月 10 日
博 物 館

1 鳥取県美術館整備基本計画の策定

アドバイザー委員会での意見、さらには県内文化団体や地域団体等の意見、県民や県議会の意見等を踏まえながら検討を進め、平成 30 年 3 月に、美術館の整備・運営手法以外についての考え方を整理し、基本計画（中間まとめ）としてとりまとめた。

また、5 月には、「鳥取県 PPP/PFI 手法活用の優先的検討方針」による「県有施設・資産有効活用戦略会議」で、民間の経営ノウハウや資金の活用による PFI・BTO 方式を導入するとの検討結果が示されたことから、その結果を盛り込んで、7 月に鳥取県立美術館の整備基本計画を策定した。

《新美術館の目的・コンセプト》

- 未来を「つくる」美術館
 - ・人を「つくる」
 - ・まちを「つくる」
 - ・県民が「つくる」

《新美術館の事業展開の特色》

- 次代を担う子ども達の想像力・創造性を育むための「美術を通じた学び」の支援
(美術ラーニングセンター(仮称)の設置)
- 県内どこでも美術館のサービスが享受できる環境づくり、県外への情報発信力の強化
(鳥取県ミュージアム・ネットワークによる連携)
- 様々な人が気軽に訪れ、出会い・学び・楽しみ・触れ合うことができる多様な利用と賑わいの創出

《新美術館整備の概要》

- 建設場所 倉吉市駄経寺 2 丁目 3-4 外
- 敷地面積等 22,060 m² (建ぺい率 80%・容積率 400%)
- 特徴
 - ・全県から集まりやすく、美術館側からも各地域へのアウトリーチ活動が行いやすい。
 - ・観光施設や文化施設等と連携しやすい。
- 施設の整備概要

展示	収蔵	教育普及・ コミュニケーション	調査研究	共用管理 事務	合計
2,610 m ²	2,070 m ²	760 m ²	290 m ²	4,180 m ²	9,910 m ²

○整備費用の想定（従来型の場合の試算）

項目	試算額	(参考) 基本構想における試算
建築工事費	77 億円	60～100 億円
その他経費 ※	20 億円	—

※外構植栽サイン、設計委託、展示ケース等備品類、展示用 ICT 機器・音響・ディスプレイ等

○整備運営手法等

PFI 手法 (BTO 方式)

*BTO: Build-Transfer-Operate の略。民間事業者が公共施設等を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理・運営を行う手法。

【官民の役割分担】

- ・管理部門（総務・施設管理等）については、民間事業者に委ねる。
- ・学芸部門については、
 - 美術作品の収集、保存、調査・研究、展示、教育普及等を中心とする。
中核業務（主に学芸員が担う業務）は県業務として引き続き実施することとし、
 - 広報・宣伝・賑わい創出機能等については、県と連携することを前提に民間事業者
に委ねる。

【契約期間】

施設の大規模修繕、民間事業者の資金調達及び県の財政負担等を勘案し、今後検討を進める。

2 機運醸成・普及啓発の取組み

(1) 美術を通じた学び

①デジタル鑑賞コンテンツの試行

- ・10月6日から県立博物館で開催する企画展「土方稲嶺(ひじかたとうれい)-鳥取画壇の祖-」
に出品する作品を利用し、デジタル鑑賞コンテンツ「Walk View (ウォークビュー)」を制作、学
校招待事業の事前授業で試行する。

②学校招待事業

- ・企画展「土方稲嶺」の会期中に、県内の小学校7校を招待する。(約350人予定)

③教員研修での専門講座

- ・県教育センターと連携し、小学校・義務教育学校の新採教員2年目研修において、図工や美
術の授業だけでなく様々な教科の授業づくりにも活かすことを目的とし、美術作品の鑑賞を
通して感性や想像力が働くことを体感した後、エキスパート教員による鑑賞授業の研修を実
施した。(7月30日、約70人参加)

(2) 鳥取ミュージアム・ネットワークによる連携

- ・美術館等協力連携計画に基づき、県内の美術系文化施設8館に所属する学芸員等が、企画展
のレクチャー・情報交換を行うとともに、ICTを活用したデジタルアーカイブ化の検討を進
めている。

(3) 県民の機運醸成

①美術館づくりワークショップ「アートの種まきプロジェクト」

- ・美術館整備の進捗状況やイベント等を紹介するフリーペーパー等を制作予定。(9月29日、
オープンミーティング実施予定)

②ミュージアムサロン

- ・芸術・文化関係者等とのディスカッションを、八頭町「隼Lab.」、倉吉市「喫茶モダン」に
て開催。(今後2回の開催を予定)

③コレクション宅配便

- ・倉吉淀屋、境港第三中学校等で、美術作品の展示・解説等を行い、今後さらに4回を予定。
(9月12日岩美町「イタリアレストラン アルマレ」ほか、小学校2、中学校1)

④県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会（中部地区の官民54団体で組織）

- ・今年度の総会が8月28日に開催され、県から美術館整備の検討状況を報告し、協議会の各
部会から課題分野ごとの検討状況及び今後の進め方等について報告、協議を行った。
- ・今後も、美術館整備に関する情報共有、連携を図りながら対応していくこととしている。

3 今後のスケジュール（案）



《資料》

- ・「鳥取県立美術館整備基本計画」